



2010年度 決算概要説明

2011年5月16日
カルソニックカンセイ株式会社
取締役社長兼CEO 呉文精



震災の被害と復旧状況

震災発生後の経緯



建屋の損壊、設備損傷

カルソニックカンセイ宇都宮(株)、(株)CKFで被害
他の拠点も一部損傷あり（岩手、山形など）

カルソニックカンセイ宇都宮(株)



3月12日撮影



3月23日撮影

3月中に全拠点で稼働開始

自動車産業全体のサプライ・チェーンが正常化するには、
しばらくかかる見込み

支援活動



➤ 約3,000万円の義援金と33,000点の支援物資を寄付

- ◆ 義援金・・・約2,000万円(国内外関係会社を含む)
グループ会社の拠点が所在する被災地へ寄付
- ◆ 従業員からの義援金(同額を会社が負担)・・・約1,000万円(当社単体)
日本および海外の赤十字社に寄付
- ◆ 支援物資の提供・・・約33,000点(当社+国内外関係会社)
被災地の自治体に対し、食料品、
飲料水、衛生用品その他
- ◆ 自治体支援
被災者を受け入れた自治体に対し
支援申し出



被災地の自治体へ支援物資を配送



2010年度 決算概況

2010年度 決算概況 <12ヵ月累計>



(億円)

	09年度実績 (A) (09/4~10/03)	10年度実績 (B) (10/04~11/03)	増減 (B)-(A)
売上高 (付加価値売上高)	6,194 (4,253)	7,482 (5,211)	+1,288 (+958)
営業利益 ※(営業利益率)	△57	195 (3.7%)	+252 -
経常利益 ※(経常利益率)	△62	187 (3.6%)	+249 -
当期純利益 ※(当期純利益率)	△133	156 (3.0%)	+289 -

※利益率は付加価値売上高をもとに算出

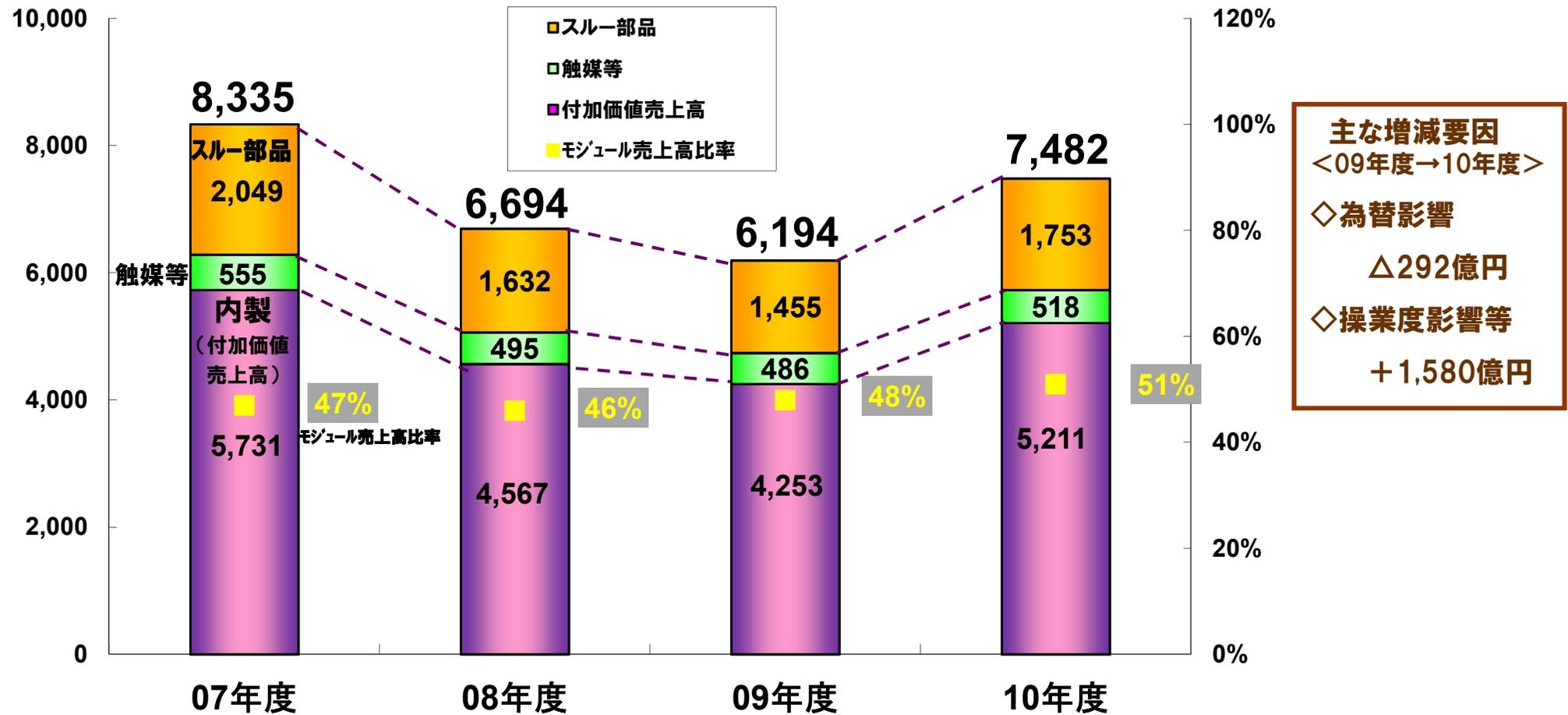
為替レート	ドル	92.9	85.7	△7.2
	ユーロ	131.2	113.1	△18.1

売上高推移 <07年度～10年度>



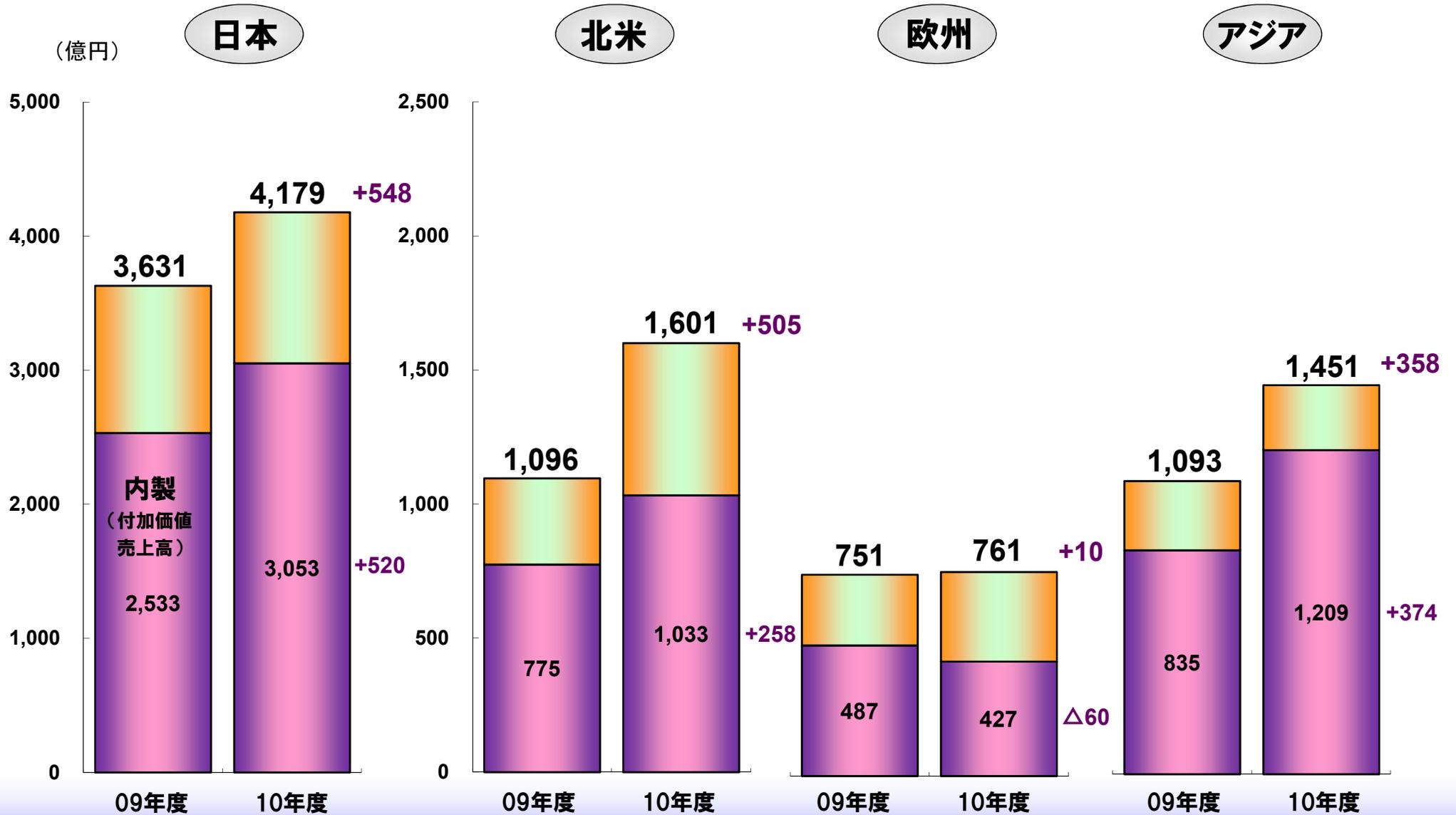
(億円)

(※)スルー部品は社内管理値

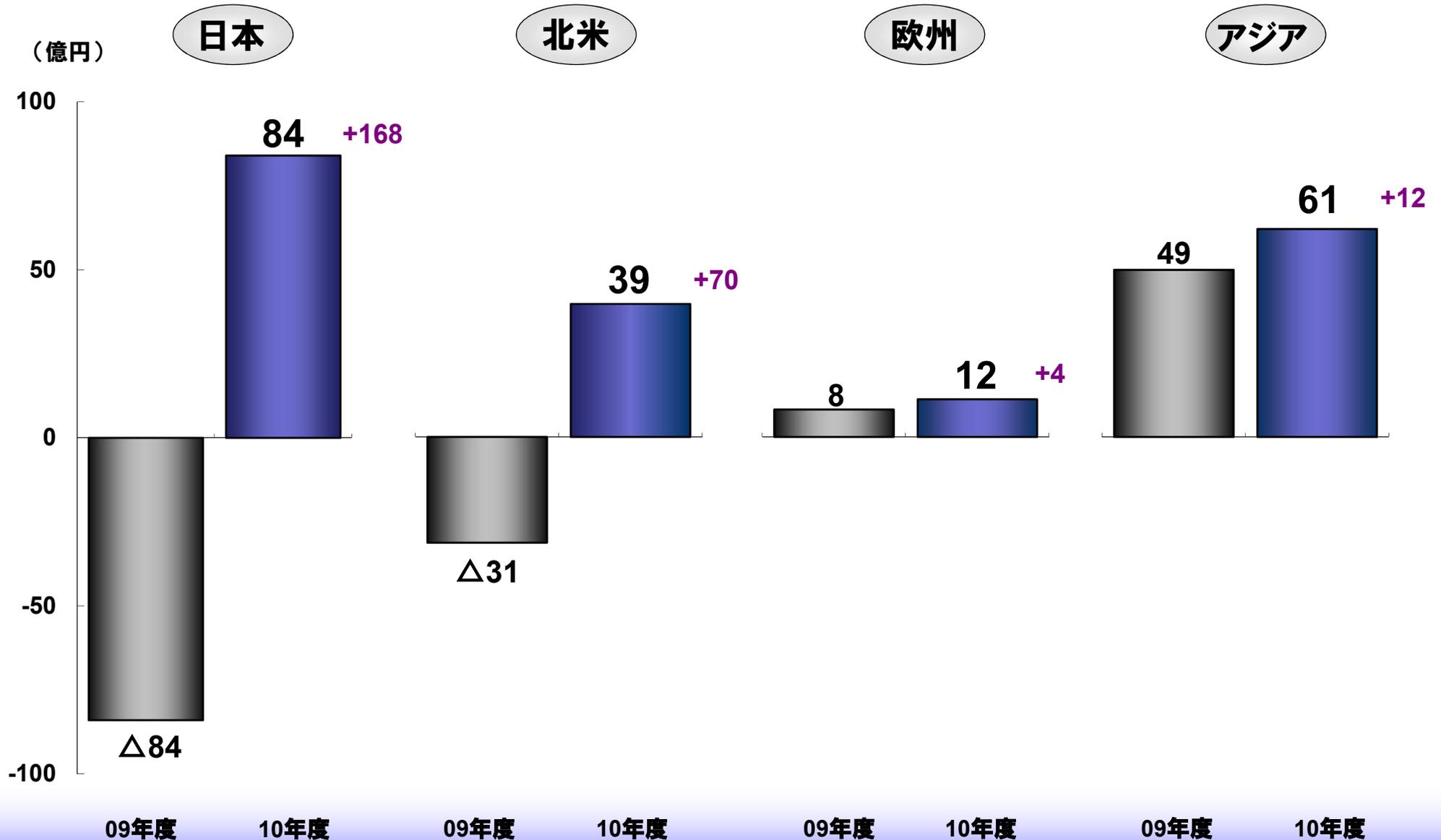


モジュール売上高比率=モジュール売上/全売上×100

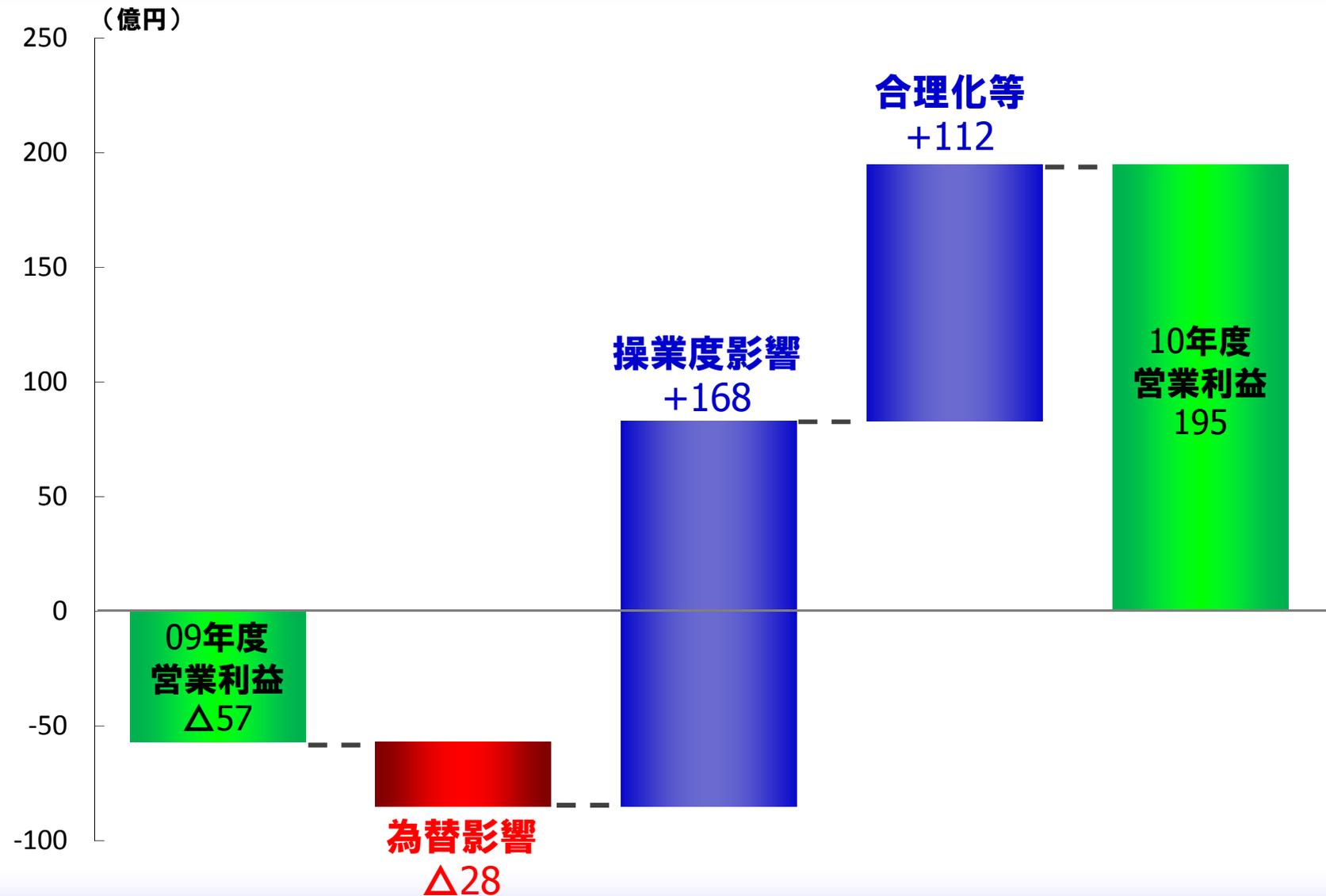
売上高推移 <地域別>



営業利益推移 <地域別>



營業利益 增減要因 <09年度/10年度>



経常利益、当期利益 <12ヵ月累計>

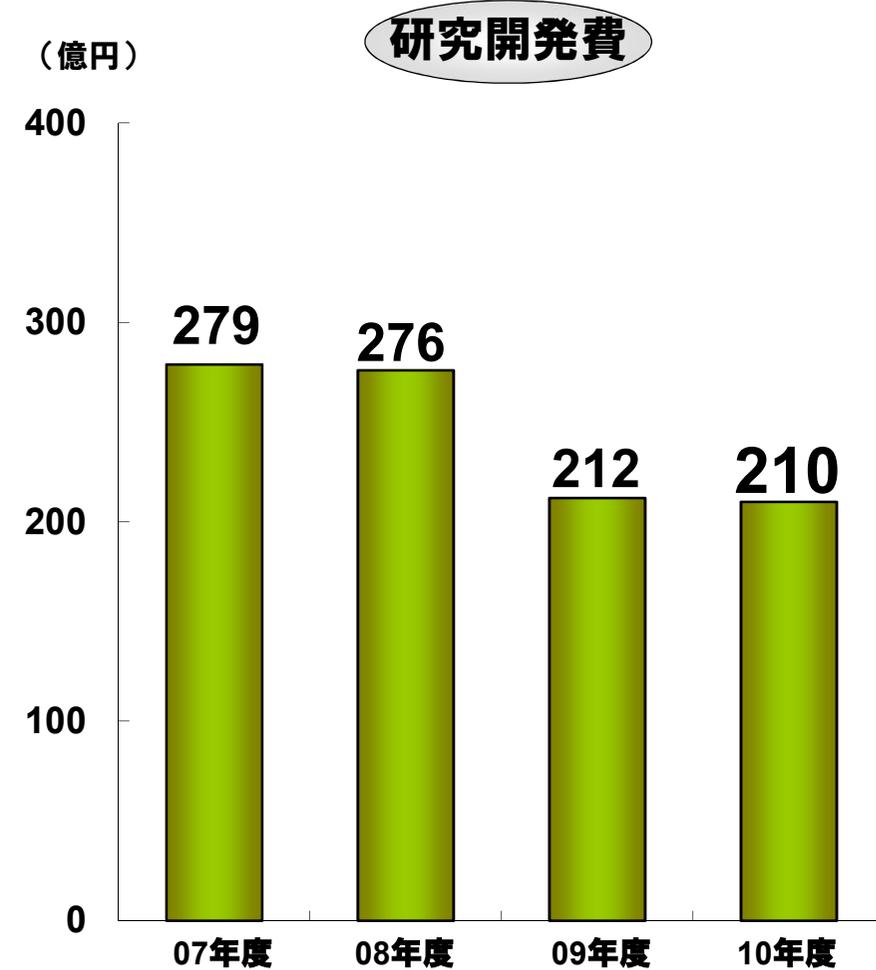
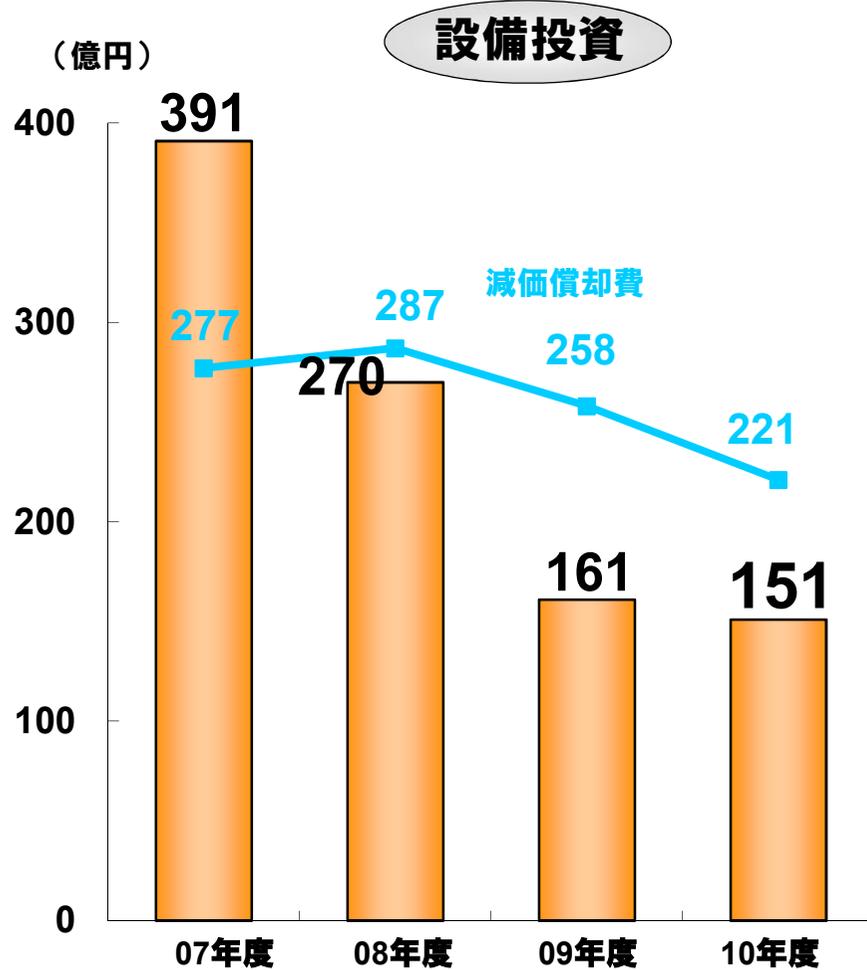


	09年度	10年度	内容(10年度 実績)
営業利益(損失)	△57	195	
営業外損益	△5	△8	ネットでの為替差損益 △17 (デリバティブ損益含む)
経常利益(損失)	△62	187	災害による損失 △18 構造改革費用 △8 減損損失 △7 資産除去債務会計基準の適用 △6 固定資産売却除却損 △6 等
特別損益	△47	△49	
税引前利益(損失)	△109	138	
税金等	△24	18	法人税、住民税・事業税 △36 法人税等調整額 63 少数株主利益・少数株主損失 △9
当期純利益(損失)	△133	156	

➤ 期末配当は、一株当たり**3円75銭**を実施

設備投資、減価償却費、研究開発費

<12カ月累計>



売上高比率
(付加価値売上高)

6.8% 5.9% 3.8% 2.9%

売上高比率
(付加価値売上高)

4.9% 6.0% 5.0% 4.0%



- **現時点では合理的な業績見通しの算定が困難であるため未定**

➡ 今後、予想可能となった時点で速やかに開示予定

- **新・中期経営計画**（2011年度～2015年度）

震災の当社事業への影響度合いが明確になった時点で発表予定



トピックス

2010年度 拡販実績

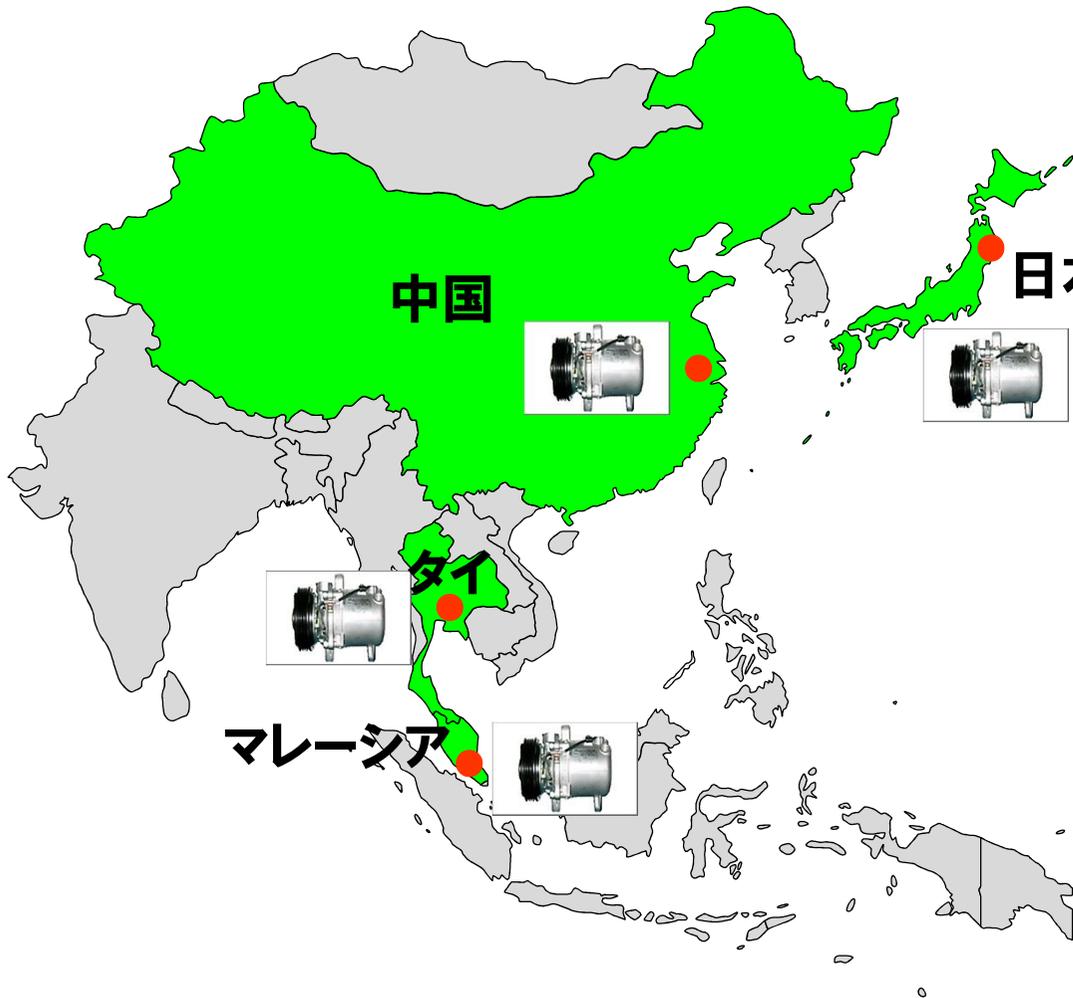


- 2012年度以降の年商ベースで、約190億円の増加
(過去最高レベル)

〔主要アイテム〕

- ◆ 日産次期グローバル車種
- ◆ メキシコ 新規生産車
- ◆ 中国 固定コンプレッサー
- ◆ 軽自動車用固定コンプレッサーの新規参入 等

成長への布石 ～コンプレッサー事業～



➤ アセアン（タイ、マレーシア）
で、固定コンプレッサーの
生産拡大

➤ 中国に新会社設立



アジアの主要国でコンプレッ
サー事業の基盤を確立
年間250万台 → 400万台体制へ

急成長を続ける中国マーケットへの対応



- **コンプレッサー新会社の設立**
- **中国エンジニアリングセンターの強化 (2010.9~)**
 - ◆ 現地リソースの活用、アプリケーションの現地化
 - ◆ 地場メーカーの調査、関係構築を推進
- **中国増産対応**
 - ◆ 鄭州地区での供給開始 (2010.9~)
 - ◆ 広州・襄陽地区の強化
- **上海モーターショーに初出展 (2011.4)**



上海モーターショー 当社ブース

2011年度の重点施策



➤ MTCR活動の進展等で、ものづくりの基盤構築

➡ グローバル化を一層進展させる局面に

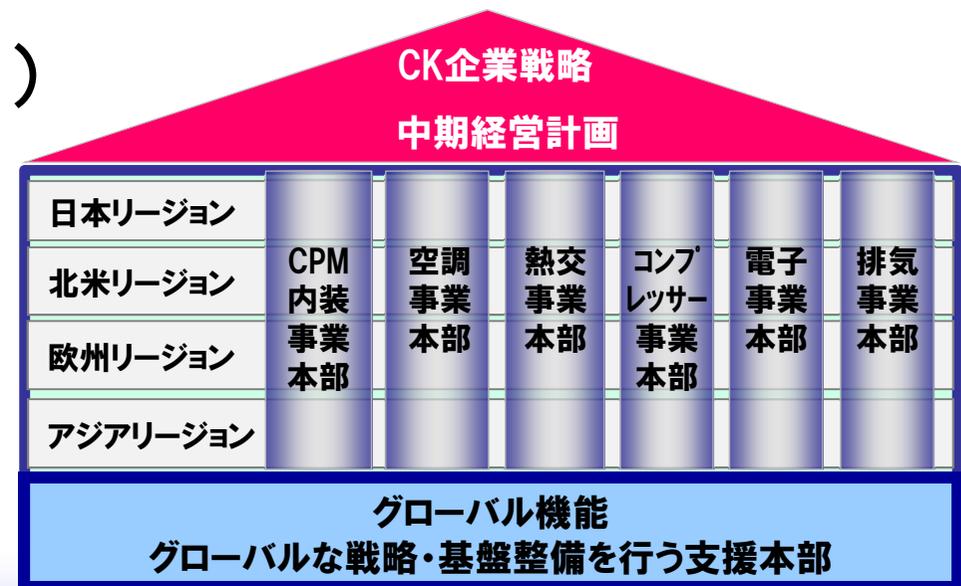
➤ 新組織によりグローバル化を加速（2011.4～）

1. 日本リージョンとグローバルHQの役割分離

2. HQ役員に外国人登用(2名)

+ リージョンのリーダー層に
現地採用の人間登用

3. 6事業本部を立上げ、
製品軸経営を強化





➤ 『人とクルマのテクノロジー展2011』出展

5月18日(水)～20日(金) 於:パシフィコ横浜

<当社ブース> D11入口右側

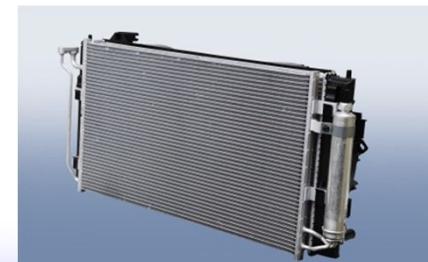
◆ 主な展示製品

EV向け製品

EV～ICE(エンジン車)に対応する新統合型熱交換モジュール

ICEの環境対応技術

ユニーク技術、他





- ・本資料に記載されているカルソニックカンセイ(株)の計画、戦略、意見等のうち、歴史的事実でないものは将来の業績等に関する見通しであり、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績は、経済情勢、市場の動向、為替の動向等重要な要素の変動により、見通しとは異なる結果もあり得ることもご承知おき下さい。
- ・本資料に掲載されている事項は情報提供を目的とするものであり、投資勧誘を目的としているものではありません。
- ・この資料の著作権はカルソニックカンセイ(株)に帰属しております。
無断転載・複製することを禁じます。